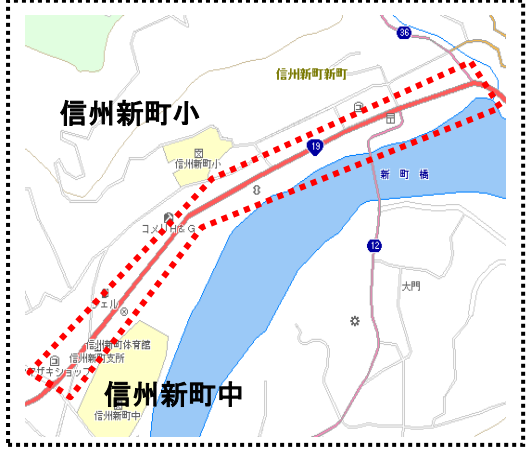


商店会情報

商店会名	しんまちこくどうしょうてんかい 新町国道商店会	位置図 
商店会の地区	信州新町地区	
会員数	22名	
商店会のあゆみ	<p>(設立) 平成 19 年</p> <p>(経緯)</p> <p>昭和の初め頃栄えた商人の街は、昭和の終わる頃「町の過疎」などにより商業の厳しい時代があったが、人との付き合いで繋がってきて、今の 40 歳から 50 歳代の仲間の会から商店会の復活となった会である。</p> <p>発足直後『新町国道中央商店会』。平成 21 年 4 月『新町国道商店会』に改名。</p>	

【商店会の紹介】

当会は、長野市信州新町の中心地域。犀川のダム湖＝琅鶴湖（有島生馬が名付けた）や国道 19 号線に沿った店主を中心にした会である。

昭和 30 年頃活気ある町にしていた親たちの店を継いだ子供たちが仲間意識を持って復活してきた商店会なので底は深い。

楽しく行こうの精神の会です。会員は商業者だけに限らず、他業種の集まりです。

会員も増加中で商店会の活性化のために皆で頑張っています。

商店会として発足直後に七福神を宝船に乗せてイベントをしたり、イルミネーションで街並み統一のアピール。植栽で花を店頭飾る。長野市との合併時には、先頭に立ってカウンタダウンコール（花火打ち上げや土産のふるまい）。ネオンを「新町イヤー」にする。新町イヤーの開会時にも参加協力。

町中の店舗が集まった「新町おもしろ一週間」にも参加、当会が担当し、大いに盛り上げた。

【イベント情報等】

偶数月に、町内の 3 つの金融機関とタイアップして、年金の出る 15 日～月末を年金サービス月間と名付け、金融機関にパンフを受給者に渡してもらい各店に持参していただく記念品を差し上げる「年金月間イベント」実施中。